

ラントモ RUN伴 in 天理

RUN tomo-rrow 通称『RUN伴』とは？

認知症の方もそうでない方も、伴にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが住みやすい地域づくりを推進する活動です。

天理市では、市役所から天理駅前コフフンをタスキでつなぎ、認知症の人と地域の人との出会いを作ります。

(開催年度によってルートが変更になる場合があります)

天理市役所



認知症の啓発カラー
-『オレンジ』

天理商店街



天理駅前・コフフン



天理市
ホームページ

これまでの取り組みは
こちらからご覧になれます



「忘れていくことは不便だけど、不幸じゃない」



「認知症は特別な病気じゃない！」

2025年には高齢者の5人に1人、国民の17人に1人が認知症になるものと予測されています。認知症は、誰もがかかる可能性のある、とても身近な病気です。

早期に適切な治療を受けること、また家族や近所などの身近な人の理解や協力があれば、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。

伴に認知症の人と家族が安心して、
暮らせる地域をつくりましょう…。

主催:RUN伴 実行委員会 in天理 後援:天理市・天理市社会福祉協議会

構成メンバー

- ◆平井正明 (認知症ピアソーター)
- ◆社会福祉法人 大和清寿会 ◆社会福祉法人 やすらぎ会
- ◆社会福祉法人 協同福祉会 ◆医療法人 宮城会 ◆社会福祉法人 天寿会